

ふたみ

明石市立二見小学校

2019(令和1)年度

2月号



二見っ子の成長を願って

～劇団四季のミュージカルに学ぶ～

校長 山田 祥千子

例年になく暖かい冬となっています。体育の授業では、「なわとび検定」の音楽に合わせて、全員が、縄跳びに取り組んでいます。明石市では今も、「なわとび検定」は続けられています。懐かしい方もあるのではないのでしょうか？「今、何級？」「返し横振り跳びは難しいよね。」・・・ご家庭での話題にさせていただけるとありがたいです。

さて、6年生と、1月27日に明石市民会館で行われた「こころの劇場」で、ミュージカルを鑑賞しました。「こころの劇場」は、生命の大切さ・人を思いやる心・信じあう喜びなど、人が生きていくうえで最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたい（パンフレットより引用）と毎年6年生を対象に実施されている事業です。「カモメに飛ぶことを教えた猫」が演目でした。瀕死のカモメから、「卵を食べないで。」「ヒナにかえるまで面倒を見て。」「ヒナに飛ぶことを、教えて。」と3つのお願いをされた1匹の猫が、自分のすべてをかけて、仲間に助けられながら、親代わりとなって、その約束を果たすというお話です。

開演のブザーで真っ暗になり、会場はざわめきました。しかし、次の瞬間舞台が明るくなり、そのざわめきはピタリとやみました。プロの演技のすばらしさ、美しさ、本物の凄さのなせる技でした。繰り広げられる演技・歌声には、会場全体が魅了されました。それは、本当に貴重な体験でした。「猫が、どうやってカモメに飛ぶことを教えるの？」疑問に思われているでしょう。カモメは、冬を越せません。もし飛べなければ死んでしまいます。唯一、その方法を知っているのは猫たちを日頃、目の敵にしているチンパンジーでした。猫たちはすべてを捨てる覚悟で、頭を下げて聞きました。カモメをたった1回で飛べるようにする方法、それは「街で1番高い塔から突き落とすこと」もちろん失敗すれば死んでしまいます。カモメはとても怖がります。親代わりの猫も躊躇します。しかし「このままでは、この子は必ず死んでしまうのだ。」猫は、覚悟を決めて、カモメを突き落とします。カモメは、勇気を振り絞って大空へ飛び立ち、南へと向かうカモメ達に合流して、飛び去っていきました。我が子の成長を願って、子どもの背中を思い切って押し出すとき、そういう時があるのです。それは私たち教師も同じでしょう。

卒業まで2か月足らずの6年生にとっては、今、まさにその時なのでしょう。そんなことを感じたミュージカルでした。二見っ子が、自信をもって新たな世界へ飛び出せる、自らの力で未来を生き抜けるように育ててくれることを願っています。実現のために、教職員一丸となって取り組んでいきます。今後ともご協力をお願いいたします。



2月行事予定

| 日 | 曜 | 本校行事 | その他 |
|----|---|--|-----------------------------|
| 1 | 土 | オープンスクール(2~4校時、月曜時間割:5校時まで) ふたみっ子図工展 ペア弁当 作品搬出 | A週 |
| 2 | 日 | | |
| 3 | 月 | 代休 | |
| 4 | 火 | 朝会 司書 業間持久走 | B週 |
| 5 | 水 | | 9:30 PTA本部会 10:45 PTA評議会 |
| 6 | 木 | | |
| 7 | 金 | 司書 3年校外学習(ノリ工場9:00~11:00) 校内研修会(全校14:30下校) | |
| 8 | 土 | | |
| 9 | 日 | | |
| 10 | 月 | SC 司書 銀行振替日① 人権教室(1年9:00~10:25 2年11:00~12:10 多目的教室) | A週 |
| 11 | 火 | 建国記念の日 | |
| 12 | 水 | ALT 6年租税教育(3, 4校時:PC教室) クリーンタイム | 学校保健委員会15:45~ |
| 13 | 木 | | |
| 14 | 金 | 3年出前授業(社会:1,2校時 3階多目的室 学年合同で) 子ども安全の日 | |
| 15 | 土 | | |
| 16 | 日 | | |
| 17 | 月 | SC | B週 |
| 18 | 火 | 業間持久走 代表委員会 | 保護者パトロール |
| 19 | 水 | ALT 生活体験DAY(6年) | |
| 20 | 木 | 司書 6年学年行事(体育館:5, 6校時) | |
| 21 | 金 | | スクールガード給食会 明石っ子造形展(~24日) |
| 22 | 土 | | |
| 23 | 日 | 天皇誕生日 | |
| 24 | 月 | 振替休日 | |
| 25 | 火 | ALT 銀行振替日② 業間持久走 | A週 |
| 26 | 水 | ALT 司書 校区ユニット研修会(短縮5校時14:00下校) | |
| 27 | 木 | 教育相談日 児童会選挙(13:20~14:20 体育館) | |
| 28 | 金 | 新1年生保護者説明会 | |
| 29 | 土 | | 市・駅伝大会(明石公園) |
| | | | ※雨天時3月1日(日) |
| 備考 | | 3/2(月)児童集会 19(木)卒業式準備 23(月)卒業式 24(火)修了式 | |



3年生

避難訓練、防災教育を通して

| 1 組 | | 2 組 | |
|--|-----|--|-----|
| くねんで階段がこんざつしたから、ゆすり合っって階段をおりようと思いました。 | A・M | 地しんは、一回おさまっても何度もくるから気をつけなければいけないと思った。 | I・S |
| 地しんがきたら大人といっしょににげたいです。 | A・Y | 地しんは、いつくるかわからないからじゅんびを整えとかなければいけないと思った。 | I・R |
| 地しんとつ波がきたら、すばやく行動して命をまもりたいと思いました。 | I・S | 2年生の時、学校で地しんがおきてこわかった。自分の命も家族の命も大切にしていきたい。 | O・A |
| 私たちはもう上の学年だから1・2年生をまもれたらいいなと思いました。 | I・R | 本当にきたらどうしようか考えながらくん練をした。命を大切にしたい。 | O・N |
| ひなんくんれんをしていなかったら命があぶないし、練習は大事だなと思いました。 | U・R | 普通に食べ物を食べられるのは、しあわせなんだなと思いました。 | O・H |
| つなみがきたら高いところにすぐにひなんしたいといけなと思いました。 | O・J | ビデオを見て、地しんはなかなかおさまらないということがわかった。 | K・S |
| 火事や地震になったときに、ちゃんとひなん訓練をしていないといけないなと思いました。 | K・T | 友だちや家族と今までよりも仲良くして、こうかいしないように生きたい。 | K・R |
| いのちをまもりたいから、ほくは安全ににげたいと思います。 | S・Y | ひなんくん練の時、しんけんによって自分の命を守りたいと思った。 | K・N |
| ひなんのときは、体をまもってにげるようにしたいです。 | S・T | 阪神淡路大震災はもう二度ときてほしくない。毎日おにぎりはいやだなあ。 | S・R |
| もしも地しんがきたときは、友だちとささえ合いたいです。 | S・A | 1回ゆれた後、2回目もすぐゆれているのをビデオで見た。友だちを大切にしたい。 | S・Y |
| みんなと助け合っって、自分の命やみんなの命をたいせつにしたいと思いました。 | S・K | いろいろな人が経験をした地しんや、つ波のことをわすれてはいけない。 | S・R |
| 地しんがおきた時など、みんなで助け合っって安全にひなんして命を守りたいと思いました。 | T・N | 本当に地しんがきた時、ちゃんとひなんできるようにくん練をおぼえておく。 | T・T |
| 大人の言うことを聞いて、もどらず、気をつけてひなんをしたいなと思いました。 | T・A | 家族を大切にしたい。ごはんを食べられることが当たり前ではないと思いながら食べたい。 | T・R |
| もしじしんがきたら、いもうとはにげかたがわからないから守りながらにげたいと思いました。 | T・K | じっさいはいつ地しんが起きるかわからないからこわい。友だちを大切にしたい。 | T・S |
| にげる場所を知っているとにげられるから、ひなんくんれんはだいじだと思いました。 | T・G | 頭を守りながらみんなを助けたい。命をなくさないようにしたい。 | T・R |
| もし本当に地しんがあったら、家族と自分の命を大切にしたいです。 | T・H | 地しんが起きたら、毎日がおにぎりなのかなあと思った。 | T・H |
| 小さい子がいたら、いっしょに安全にひなんしたいです。 | T・Y | 阪神淡路大震災で、約6000人の方がなくなった。命やごはんを大切にしていきたい。 | D・Y |
| 地しんがいつ来るかわからないから、くねんをしてそなえなきゃいけないと思いました。 | N・Y | 自分の町に地しんがきたらどうしようか考えました。たいさくをしようと思いました。 | N・R |
| みんなの命をまもるには、安全にあわてずのにげることが大切だと分かりました。 | N・R | 本当に災害が起きた時のために、しっかりひなんくん練をしなければいけない。 | N・K |
| 本当に地しんがきたら、わたしは、家族や友だちとすぐになげ、みんなで命をまもりたいです。 | N・A | つくえの下にかくれたり、高いところにのぼったり本当に地しんが来たように感じた。 | N・M |
| つ波や地しんのときに、家族や小さい子、友だちをまもりたいなと思いました。 | N・K | 地しんやつ波はおそろしいと思った。友だちや家族を大切にしていきたいです。 | N・N |
| 地しんがいつどこでおきて、まずは自分をまもりたいと思いました。 | H・A | ビデオを見て、物がたおれてきていてこわかった。命を大切にしていきたいです。 | H・I |
| もし地しんがおきたら、小さい子たちとみんなをひなんしたいです。 | H・K | これからのために、大切なくんれんだなと思った。みんなといい思い出を作っていきたい。 | H・K |
| みんなで小さい子を守って、安全な所へひなんしたいと思います。 | P・M | つ波がいろいろな町を流していったえいぞうがこわかった。夢でも見たことがある。 | H・N |
| 大きな地しんだったらもう会えなくなっちゃうかもしれないから、はぐれないようにしたいです。 | H・Y | 自分の命を守りたいです。整理整頓をして物がたおれてこないようにしたいです。 | M・K |
| 地しんから命を守る時は、大人の言うことをちゃんと聞くというのが大切だと思いました。 | M・K | 地しんで約6000人の人がなくなれたと聞いて、こわかった。命を大切にしたいです。 | M・N |
| みんなの命をたいせつにするには、ちゃんとにげたいです。 | M・K | 高いところやたてものがくずれにくい場所ににげるんだということがわかった。 | M・H |
| 地しんやつ波はみんなの命をうばってしまうから、おきてほしくないなと思いました。 | Y・R | 命を大切にしないといけな。地しんの話をうちのひととしました。 | M・E |
| つ波がおきたら、たかいところににげて、つ波においつかれなようにしたいです。 | Y・M | ビデオを見て本当にこんな強いじしんやつ波があったことにおどろきました。 | Y・Y |